

付属機関等会議録

平成 28 年 9 月 28 日

会議の名称	平成 28 年度 第 1 回島田宿大井川川越遺跡整備委員会
開催日時	平成 28 年 9 月 24 日 14 時 00 分～16 時 00 分まで
開催場所	島田市役所 金谷庁舎 第 1 会議室
会議の議題	<p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度事業について…配布資料 1 ①史跡購入事業 ②川会所跡・二番宿西の発掘調査 ③川越遺跡関連イベント ④塚本家住宅の建造物調査 <p>○協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島田宿大井川川越遺跡整備基本構想（構成案）について…配布資料 2
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	公 開 ・非 公 開・（ 全 部 ・ 一 部 ）
公開の場合の傍聴人の数	0 名
出席者の氏名等	<p>○整備委員 渡辺和敏委員長、高瀬要一副委員長、建部恭宣委員、海道清信委員、荒井完治郎委員、松井三宜委員、畑活年委員</p> <p>○臨時委員 北川雅之（産業観光部長）、大村彰（都市基盤部長）</p> <p>○オブサーバー 山田啓子（静岡県教育委員会文化財保護課主査）</p> <p>○事務局 孕石晃（教育委員会文化課長）、家田佐知子（係長）、篠ヶ谷路人（主任学芸委員）、望月伸嘉（主査）、川島綾子（囑託員）</p>
報告事項①（資料 1）	<p>○史跡購入事業</p> <p>川会所跡 河原二丁目 4 2 6 4、4 2 6 4-2（計 653.40 m²）の土地および物件補償について歴史的建物の価値が低いことと国庫補助金の対象にならず、修繕費、移築費用等多額の費用がかかるため、市の単独予算では負担できないため除却することについて説明をした。</p> <p>（委員からの意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体する川会所跡の建物の図面を残しておいた方がよい。 ・川会所跡に建っている建物の解体後は景観上、隣家の建物の側面を植栽等で隠した方がよい。
報告事項②	<p>○川会所跡・二番宿西の発掘調査</p> <p>川会所跡・二番宿西の発掘調査（期間 H.28.11.01～H29.01.31）を実施することを説明した。</p> <p>（委員からの意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の礎石痕を探したいので本来建物のあった位置を想定したトレンチを当てた方がよい。
報告事項③	川越遺跡関連イベントについて下記のとおり説明した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市博物館企画展「川越遺跡と島田の文化財」期間 7/16～9/4…3271 人の入館者数があった。 ・博物館講座「川越遺跡指定から 50 年」では文化庁主任調査官の佐藤正知氏に講師を依頼し 43 名の方が受講された。
報告事項④	<p>○塚本家住宅の建造物調査</p> <p>塚本家住宅の建造物調査について以下のとおり説明した。</p> <p>昨年 7 月に島田市への保存要望のあった塚本家住宅に市内文化財建造物監理士の資格を有する建築士に委託して建造物調査を行った。</p> <p>おおよそ、幕末から明治の建築と推定されたが、築年代を特定できるような大きな痕跡は見つからなかった。</p>
協議事項（資料 2）	<p>資料 2 整備基本構想の構成案について説明した。</p> <p>（委員からの意見）</p> <p>○基本構想（構成案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川越遺跡の指定範囲の 3 つのゾーン分けに関しては構想の段階で決めてしまうと事業のスピードに弊害が生じないか、また連続してエリアを捉えられなくなってしまうため再検討した方がよい。 ・川越は「かわごえ」と間違えやすく、ルビもしくは送り仮名を入れ「川越し」としたらどうか。 ・構想の策定に関わる経緯、住民に配慮し観光面で生じる騒音やプライバシーについても記載した方がよい。 ・文化庁以外の国の色々な補助金も活用した方がよい。 <p>○キャッチフレーズについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構想と観光は別とし、史跡と保存の活用とのバランスを思慮した方がよい。 ・史跡を守るだけでなく 150 年前の史跡や文化財を新たに作り出す方向で意義のある土地柄をイメージした、難所でも明るいイメージができる内容がよい。 ・川越遺跡の特徴でもある「大井川」、「東海道の難所」を折り込みたい。 <p>○ネットワーク計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークは島田市に限定しなくてもよいのでは？（藤枝・岡部の周辺地域を含み、東海道の交通のつながりを示すもの。） ・ベンチ、植栽、休憩所、トイレ、交通安全、アクセス等を組み込み、快適に歩けるような計画を組み込んで欲しい。
提出された資料等	平成 28 年度第 1 回島田宿大井川川越遺跡整備委員会次第・資料 島田宿大井川川越遺跡整備基本構想（構成案）
会議を所管する課の名称	島田市教育委員会文化課
その他必要な事項	